

医薬品の適正使用に向けた多職種連携（病診薬連携）推進業務委託に係る
公募型プロポーザル審査基準

区分	審査対象	評価項目	配点	加重倍率	評価点
実施体制・業務遂行能力	業務実行体制、業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を適切かつ確実に実施できる組織体制、人員配置となっているか。 ・同種・類似業務の実績を有しているか。 ・他自治体や他医療保険者での事例や学識等からのエビデンスを持っているか。 	5	×2	10
	情報管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な情報収集、情報管理の手法が示されているか。 ・個人情報保護や秘密保持に対する対策がなされているか。対策は具体的に実効性のあるものか。 	5	×3	15
企画提案内容	現状把握	<ul style="list-style-type: none"> ・①ポリファーマシー、②フォーミュラリ、③服薬アドヒアランスの各分野における多職種連携推進体制について、全国の先進事例を明示し、どのような手法で調査し、どのような調査結果が提供できるかを例示により明示しているか。 ・事業目的を正しく理解しているか。 	5	×3	15
	企画提案内容の有用性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、本県の医薬品の適正使用に向けた多職種連携を推進していくための参考データとなり得る具体的な分析項目が提案されているか。 ・データ分析について、どのような手法で分析し、どのような分析結果が提供できるかを例示により明示しているか。 ・市町村、医師会・薬剤師会への報告にあたり、効果的な調査となるよう着眼点が提案されているか。 	5	×6	30
	企画提案内容の新規性、効率性、独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に記載のない参加者のアイデア、ノウハウが発揮されているか。 ・事業の実施にあたって、より効果の高い方法を用いているか。 	5	×2	10
	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・委託期間内に実施できるスケジュールが設定されているか。 	5	×2	10
	事業費（見積額）	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果を考慮した提案であり、積算の内訳は適切であるか。 	5	×1	5
	発展性、波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施効果として、医療費適正化効果が見込まれるか。 	5	×1	5
	合計				